

たんぽぽ



令和6年10月発行
発行者 放送大学
富山学習センター
責任者 所長 森岡 裕

vol. 128

大学における「学び」の先に

放送大学富山学習センター
客員教授 藤田公仁子

人生100年時代といわれる現在、一生涯学び続け、生涯現役で活躍していく社会を目指していくためには、大学における「学び」を一生涯の「学び」の大切な入口と位置付けることが重要である。汎用性のある教育を実現し、グローバル社会における今後の急激な変化・変革にも対応できる人材育成を望むのであれば、大学は既存の方策に頼らない新たな生涯学習社会の充実を模索していくことが必要である。

私が大学生であった時代は、比較的時間の余裕に恵まれていた記憶がある。専門性にとらわれず幅広い分野の古今東西の名著に親しみ、音楽、美術、演劇等の鑑賞、あるいはそれらを通じて自己表現活動を試みるとともに、自己や社会について考え、それらと相対していく力を自ら養う時間があった。そうした時間は、その後の人生を豊かに生きていく上でとても大切なものである。

よく「社会人基礎力」といって、課題発見・探究能力、実行力が社会人として必要な能力とされている。これらを有する社会に通用する人材を、高等教育機関はどのように育成していくのか。「大学教育は何ができるのか？」をもっと俯瞰した目線で議論すべきではないだろうか。

本来主体的に学ぶ場であるべき高等教育機関だが、進学率の上昇に伴う大衆化の進展により、その性格を変化させてきている。そのような中で様々な工夫を凝らしてきた多種多様な科目を持つ放送大学は、学生の知的好奇心を喚起し、将来へ向けての生き方等個人の目的に寄り添う形で、学ぶことを具体的に考えさせ、学ぶことへの目的意識を高めるとともに、社会の中で果たす役割や使命についての意識も育ててきたといえる。

リベラルアーツ教育は、現代社会の様々な問題に立ち向かうための「総合力」を養うためのものであることは周知のことだが、一つの学問体系として確立された、人間が自由に生きていくための実績的な知性、創造力を養うための学問であるともいわれる。

放送大学は、教養学部教養学科であり、6つのコースで学べる科目はまさにそうした学問である。さらに、主体的に学ぶ場でもある。また、多種多様な科目は社会の変化に対応していくことが意識され、リカレント教育やリスキングについての科目も用意されているほか、DXやデータサイエンスの分野に注目している科目もある。

次世代を担う学生たちに、高等教育機関はどのようなカリキュラムや学習プログラムを提供できるのか。修了時、彼らはどのような人材に育っているのか。何年先に、その成果は個々人の中にあらわれてくるのか。そこに大学がどれほど寄与しているのか。測ることは難しい。

しかし、生涯学習は個々人が学びを通じて、主体形成に深く関与していくものである。私自身、「生涯学習」「キャリア教育」の中で、今の「学び」を得た学習者の将来の姿、学びの成果を見ることは難しいが、ここは後世の研究者に委ねたいところである。



2024年度第1学期「学位記授与式」

9月29日(日)富山学習センターで、「学位記授与式」が開催され、富山学習センター所属の学生のうち、22名の方が教養学部をご卒業され、1名の方が大学院文化科学研究科(修士課程)をご修了されました。皆様のご努力に敬意を表し、心からお慶び申し上げます。

なお、富山学習センター所属の卒業生のコース内訳及び特別表彰(複数回の卒業となる方が対象)は下記のとおりです。

◆ 2024年度第1学期 教養学部卒業生

コース	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境	計
人数	1	8	3	5	3	2	22

ご卒業
おめでとうございます!



大学院文化科学研究科(修士課程)修了生

プログラム	自然環境科学	計
人数	1	1

- ◆ 富山学習センター所長特別表彰1名(教養学部の複数のコースを卒業した方)
- ◆ 放送大学名誉学生表彰2名(教養学部の全6コースを卒業した方)
- ◆ 記念撮影



所長式辞

学位記授与

卒業生代表謝辞



卒業生からのメッセージ



今回6コース目の卒業です。とりわけこの情報コースは、難しいコースでした。以前は、インターネット配信もなくケーブルテレビの視聴や放送大学でのビデオ視聴が主でしたので、学習センターに、通って、ビデオ視聴していました。今は便利になり、スマホでのインターネット配信でいつでも見られ勉強できるのですから。好きな時にできるので、そうなると思えば甘えが出て、中々進まず、そんな中の卒業だったので、感慨もひとしおです。(情報コース：S.M)

定年退職と同時に卒業することを目標に放送大学に入学し、先輩の奨めで事前の準備もせずに卒業研究を申請し登録が認められてしまった。最終学年は11月まで朝食前の2・3時間を論文作成に充て、大変ではあったが多少の達成感を得た。再入学後、小、中、高校時代の同級生3人が続けて死去したことで自分は何を成し遂げたのかと考えるようになり、卒業研究の不足部分を補い新しい知見を得ることに思い至った。再就職先を辞め時間的余裕も生じたことで何とか所期目的を達した積りでいる。2022年石川での岩崎久美子放送大学教授の面接授業「成人学習理論を学ぶ」で成人学習理論の一つにメジローの変容的学習論があることを知り、前述のことが全く該当すると納得した。在学生の皆さん、是非自分の生涯学習を進めて下さい。放送大学の諸先生、センター職員の皆さん、長きに亘りお世話になり有り難うございました。(心理と教育コース：K.O)

私の学籍番号は「961」で始まる。つまり1996年(平成8年)1学期入学である。途中14年間の中断を経て、そろそろ30年になろうか。「遙くも来つるものかな」である。工学部出身だったこともあり、リベラルアーツ的なものを求めて入学した記憶がある。勤勉な学生ではなかったという自覚はあるが、多様な科目を受講することで、自分の中にさまざま「気づき」が生じ、日常の中で役立つことも多い。心理学実験のような実習型の面接授業がとりわけ有意義だった。印刷教材や放送講義では得られない、直接先生や他の学生と対話をしながら学ぶことで、理解が深まる感覚があった。多様なバックグラウンドを持つ方々と意見を交わすことで、新しい視点や考え方に触れることができたのも、大きな魅力だった。ネット配信化に見られるように、社会の要請に応じて、放送大学もそのあり方を(ひょっとするとその名称さえも)変容させていくと思うが、今後もゆるゆると付き合っていきたいと思う次第である。(心理と教育コース：KK)

今から20年以上前、知識や経験が乏しいと思い放送大学に入学しましたが、入学しただけになっていました。そして今から2年半前、やりとげていないと思い、卒業を目指して再入学しました。勉強はやり始めるとわかる事が楽しく、夜や朝支度をしながらBS録画を視聴する時間を工夫して使う事自体も楽しく、良い時をすごしたなあと思います。これからも良い時(勉強)を続けます。放送大学さん、これからもお世話になります。(自然と環境コース：SK)

私は、情報コースに入学して2年、念願叶い卒業でき、大変うれしく思います。卒業を目指し情報に関する科目を自宅のパソコンや、富山学習センターに出向きパソコンで勉強しました。インターネットで配信される放送大学の講師の先生はわかりやすく丁寧に教えていただきありがとうございました。webでの試験でしたがなんのトラブルも無く受験を済ませ見事合格し、お陰で卒業できありがとうございます。(情報コース：M.Y)

ご卒業
おめでとう
ございます!

「たんぽぽ」次号はWebブラウザで！

次回の「たんぽぽ」129号から、Webブラウザでの発行となります。
これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

システム WAKABA を活用しよう！

「キャンパスメール」とは、Web ブラウザを利用した電子メールシステムです。
下記メールアドレスが学生全員に割り振られています。

学生番号（ハイフン除く半角10桁）@campus.ouj.ac.jp

本部からの修学関連の連絡や、富山学習センターからのお知らせ、イベントのご案内を随時お送りしますので、定期的にキャンパスメールをご確認ください。

キャンパスメールに届いたメールを普段ご利用の携帯メールアドレスなどへ自動転送することもできます。設定方法については、システム WAKABA「キャンパスライフ→附属施設・情報システム」にて案内しております。

定期的にはチェックしてもらえると嬉しいな♪

キャンパスメールはこちら！

学内連絡はこちらから！

The screenshot shows the WAKABA system interface. On the left, there is a user profile section with a login icon, a date '2023/09/12 11:56', and settings for '色・プロフィール設定', 'パスワード変更', and 'キャンパスメール'. A red box highlights the 'パスワード変更' option, and a red arrow points to it with the text 'キャンパスメールはこちら！'. In the center, there is a navigation menu with 'キャンパスライフ', '授業サポート', and '教務情報'. A red box highlights the '学内連絡' option, and a red arrow points to it with the text '学内連絡はこちらから！'. On the right, there is a '学内リンク' section with various links like 'Web通信指導', 'Web単位認定試験', 'オンライン授業', etc. A speech bubble at the top says '定期的にはチェックしてもらえると嬉しいな♪'.

夏のオープンセミナー開催報告

■『ことばをグラウンディングする』【8月31日(土)・受講者13名】

講師：向井 理恵 (放送大学富山学習センター客員准教授・高岡法科大学法学部准教授)

“girl like dog”のような表現は何がおかしいのでしょうか。このままでは、表現が宙に浮いてしまい、話し手は自分の意図することを聞き手に正確に伝えることができません。しかし、The girl likes dogs. や Some girl liked my dog. などとすると、表現がグラウンディングされ、現実のものとして固定化します。ことばを「今、ここ」につなぎとめる、グラウンディング要素は、ふだんは目立たない脇役ですが、私達の捉え方が結晶化した言語要素です。本セミナーでは、英語のモノやプロセスをつなぎとめるグラウンディング要素について、私たちの認知の観点から見ていくことを学びました。



■『教育機会確保法を考える ー不登校をめぐる諸課題』【9月7日(土)受講者5名】

講師：高山 龍太郎 (富山大学学術研究部社会科学系教授)

2016年成立の教育機会確保法は、不登校の子どもを無理に学校に戻そうとはせず、子どもに合わせて学校や教育制度を作りかえようとする。法の成立後、不登校は急増しており、2022年度には約30万人となった。各地の地方自治体で、学校以外の場で不登校の子どもが学ぶ費用を一部助成するようになりつつあるが、少額なものに留まっている。しかし、それを増額すれば、民営化を伴う広範な学校選択を導入することになり、現在の就学義務制度が大きく変わる可能性があることを学びました。



■『野生動物との共存を考える ～増える獣害を受けて～』【9月14日(土)・受講者22名】

講師：横畑 泰志 (富山大学学術研究部理学系教授)

日本各地でクマ類、ニホンジカ、イノシシなどの野生動物による人身事故や農林業被害、生態系被害などのさまざまな問題が発生しています。これらの野生動物は個体数が増加し、分布域が拡大していることが明らかになっており、多くの絶滅危惧種との間で「二極化」が進んでいます。このセミナーでは、特に富山県内で大きな問題になっているツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシの3種を中心に、日本全体や県内での状況を学びました。



冬のオープンセミナー受講生募集

日時	テーマ・講師	場所
11月30日(土) 15時～16時30分	『心理学的視点から見る well-being の実際』 講師：石津 憲一郎 (放送大学富山学習センター客員教授・ 富山大学大学院教職実践開発研究科教授)	魚津市立図書館 魚津市本江1940番地
12月15日(日) 10時30分～12時	『王朝貴族の日記にふれる』 講師：鈴木 景二 (富山大学学術研究部人文科学系教授)	富山市立図書館本館 (TOYAMA キラリ内) 富山市西町5番1号

申込方法 「氏名と連絡先(電話番号)」を電話またはメールでお知らせください。

どなたでも(一般の方々も)受講料無料で参加できます。

放送大学 富山学習センター TEL: 0766-56-9230 Email: toyama.sc@ouj.ac.jp

面接授業を追加登録してみませんか！

◆ 面接授業とは

- ・ 学習センターなどで他の学生と一緒に、直接教員から講義や指導を受けられます。
- ・ 1科目1単位、授業料は1科目につき6,000円です。
- ・ 2024年度第2学期に学籍のある全科履修生・選科履修生・科目履修生が受講できます。



追加登録の受付方法が変わります！

ご注意ください

「事前申請受付」が可能となりました！

1. 【空席発表】 10月11日（金）15時

〈方法〉面接授業ウェブサイト（第2学期）の「お知らせ」にて



2. 【事前申請受付】 空席発表～10月16日（水）13時

〈受付方法〉Googleフォーム／学習センター窓口／郵送（午前必着）

郵送事情から配送が遅れることが懸念されるため、

Googleフォームもしくは窓口での申請をおすすめいたします。

〈抽選方法〉空席枠以上の申込みがあった科目は、学習センターにて厳選に行います。

〈当選科目の連絡方法〉10月17日（木）に、キャンパスメールにてお知らせいたします。

〈授業料納入方法〉10月24日（木）まで窓口または郵送（現金書留）でお願いいたします。

注）当選した科目のキャンセルはできません。

詳しくは「2024年度第2学期面接授業時間割表」をご確認ください。



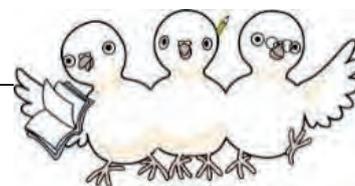
〈10月16日（水）13時～17日（木）15時は受付いたしません〉

3. 【先着申請受付】 10月17日（木）15時～原則として開講日の7日前まで

事前申請で満席とならなかった科目について行います。

〈受付方法〉学習センター窓口／郵送（現金書留）にて

注）授業料は申請時に納入ください。



授業の一部を紹介します

◆ 基盤科目：「建築・都市・景観と自己同一性」 松政 貞治 先生

開講日：12/14（土）、12/15（日）

建築・都市・景観の世界遺産が選ばれた理由を確認しながら、それらの歴史的文化的アイデンティティが私たち自身のアイデンティティを構成していることを考察します。さらにどのような建築・都市・景観が良好なもので、また好ましくないものなのかを、多くの写真・映像資料を見ながら、欧米や中国、日本のものを事例にして考えます。その上で、特に地域性の概念を中心にして、富山県内の建築・都市・景観（町家、散居村、近現代建築等）を分析・評価します。

富山学習センター開講面接授業一覧

科目区分		科目名	講師名	定員	開講日
基 盤	—	PCの基礎とWebデザイン入門 【BYOD】	春木 孝之	16名	11/9(土)、11/10(日)
		リカレント教育と学習支援	藤田公仁子	25名	11/30(土)、12/1(日)
	外国語	En+Joy English	Richard B. Curtis	12名	12/14(土)、12/15(日)
専 門	生活と福祉	薬理学の基礎	山本 武	15名	11/30(土)、12/1(日)
	心理と教育	★心理検査法基礎実習	松尾 藍	20名	10/19(土)、10/20(日)
		心理学実験3【BYOD】	坪見 博之	20名	10/26(土)、10/27(日)
	社会と産業	★日常生活のなかの犯罪と法律 【新規】	西尾 恵子	15名	10/19(土)、10/20(日)
		地理空間情報を通してみる富山 【BYOD】【新規】	大西 宏治	12名	11/16(土)、11/17(日)
	人間と文化	北方諸言語概説【新規】	呉人 恵	25名	12/7(土)、12/8(日)
		建築・都市・景観と自己同一性	松政 貞治	25名	12/14(土)、12/15(日)
	情 報	★技術変革と私たちの生活	葉田 善章	40名	10/12(土)、10/13(日)
	自然と環境	n次元の球の体積入門【新規】	藤田 安啓	15名	11/9(土)、11/10(日)
		大陸進化論と日本列島発達史	梶座圭太郎	25名	11/16(土)、11/17(日)

・科目名に★印のついている科目については、日程の都合上、追加登録することはできません。

ライブWeb授業について

Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。

授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。受講の際には必ず当該システムを確認してください。

2022年度第1学期から始まった新しい授業形態で、卒業要件上は、「面接授業又はオンライン授業」として扱われる単位が授与されます。受講後のアンケートに回答された受講生の9割近くが、今後も受講を希望すると回答しております（2021年度第2学期のアンケート結果による）。「面接授業」を受講したいけれど、学習センターまで通学できない、遠方に行けない、体調に不安がある...といった事情もクリアできる場合があります。

なお、追加登録は、「面接授業」と同じ方法です。

2024年度第2学期開設科目は、以下のサイトもしくは、QRコードを参照ください。

https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/2024-02_liveweb/



ゼミ・サークル活動について

富山学習センターには、客員教員の指導のもと学生が発表や討論を行う『ゼミ(ゼミナール)』のほか、趣味や関心が同じ学生・卒業生が自主的に集まって、互いに啓発し親睦を深める『サークル』があります。

ゼミは放送授業や面接授業とは異なり、所長・客員教員指導の下、研究、発表、討論を行うものです。受講料は無料ですが、単位は修得できません。また、指定のテキストを購入する必要があります。

富山学習センター所属の学生であれば、どなたでも無料で参加できますが、申し込みが必要です。詳しくはメール、または電話でお問い合わせください。



◆ 10月から開講！



現代社会ゼミ

担当講師：森岡 裕（放送大学富山学習センター所長）



心理学ゼミ

担当講師：石津 憲一郎

（放送大学富山学習センター客員教授
富山大学大学院教職実践開発研究科教授）

◆ 2025年2月から開講！



日本語学ゼミ

担当講師：濱田 美和

（放送大学富山学習センター客員教授
富山大学教育研究推進系(国際機構)教育部門教授）

◆ 活動中のサークル

◎ 放大サロン（旧：哲学カフェとやま）

日常の事柄をテーマに討論し、その中で会員同士の親睦を深めることを目的とするサークルです。

富山学習センターWeb サイトをご覧ください！

当センターのWeb サイト（ホームページ）では、スケジュール（イベント、ゼミ・サークルなど）や施設の利用案内などが閲覧でき、各種申請書などの様式もダウンロードできます。

臨時閉所等、最新の情報を掲載していますので、来所前にご確認ください。

富山学習センター

で検索！



通信指導は必ず提出しましょう！

◆ 通信指導とは

- ・ 放送授業及び一部オンライン授業では、各学期の途中に一度、前半の一定の範囲で出題される問題を提出し、担当教員の指導を受ける必要があります。これが「通信指導」です。
- ・ 通信指導に合格すると単位認定試験の受験資格を得ることができます。(未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、受験できません。)
- ・ **出題範囲**は、概ね授業の半分です。(全15回であれば前半8回程度)

◆ Web 通信指導について！

2024年度第2学期より、原則 Web 通信指導による提出（郵送提出科目を除く）となりますので、問題冊子の送付はありません。

通信指導問題は、自宅等からインターネットを通じて Web 通信指導にアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。(評価対象となる解答は1回目の提出のみ)

各科目の提出方法については「授業科目案内」に記載してありますので、ご確認ください。

また、通信指導問題はシステム WAKABA 内「授業サポート→授業共有ファイル」にて10月上旬より確認できます。

なお、自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web 通信指導による提出が困難な場合は、10月1日時点で単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、10月下旬から11月上旬に問題冊子を送付します。(印刷教材とは別に発送します。) 単位認定試験の受験場所を学習センターにしていない場合、10月31日(必着)までに「単位認定試験受験場所変更願」を提出した方には、11月上旬に問題冊子を送付します。

2024年度第2学期の通信指導提出期間

- ・ Web 通信指導による提出の場合
11月7日(木)10:00~11月28日(木)17:00
- ・ 郵送による提出の場合
11月14日(木)~11月28日(木) 必着

◆ システム WAKABA で提出状況の確認ができます！

通信指導の提出状況の確認は、システム WAKABA 「教務情報→成績管理→履修成績照会」画面において確認できます。

【Web による提出分】通信指導提出後ただちに、「Web 通信指導」のトップページ画面において、各科目の欄内に「提出済(送信済)」と表示されます。システム WAKABA の「履修成績照会」画面には、目安として提出(送信)いただいた翌日か翌々日に「受理」と表示されます。

【郵送による提出分】大学本部において一定の手続きを経て問題冊子の受付処理が済むと履修成績照会画面の通信指導の欄が順次「受理」と表示されます。提出期限までにご提出いただいた場合、12/6頃までにすべての科目が「受理」と表示されます。問題冊子ごとに受付処理をしているため、表示される順序に差があります。

2024年度第2学期単位認定試験は Web 受験方式です！

2024年度第2学期単位認定試験についても、Web 受験方式により実施します。(郵送受験方式の科目を除く。)

単位認定試験期間 2025年1月19日(日)9:00~1月27日(月)17:00

事務室からのお知らせ

その1. 「学生生活の栞」や「学習センター利用の手引き」をぜひ読んでみましょう！

「学生生活の栞」は大学本部から送付されます。最初にまず通読して全体を理解し、必要に応じて関係事項を参照してください。

「学習センター利用の手引き」は、富山学習センターにおける視聴学習室等の利用案内や学年暦のほか、役立つ情報が多く記載されていますので、ぜひご覧ください。（お手元がない方は、富山学習センター窓口までお申し出ください。）。

その2. 各種証明書等の交付について

●学生証の交付



新規・継続入学の方は、**学期開始後、早いうちに「入学許可書」**をご持参のうえ富山学習センターにて交付を受けてください。有効期限切れの学生証の更新は、古い学生証と交換で交付いたします。なお、顔写真を登録されていない方は、システム WAKABA による登録、または写真票（「学生生活の栞（巻末）」）を本部学生課 出願登録係にお送りください。登録完了後、富山学習センターにて交付いたします。

●各種証明書の交付



▶**在学証明書、成績・単位修得証明書、卒業(修了)証明書、卒業(修了)見込証明書、在学期間証明書**の発行をご希望の方は、最寄りの学習センター窓口にて『諸証明書交付願』（学生生活の栞（末巻様式9））と発行手数料（1通につき200円）を添えて提出してください。

▶**学力に関する証明書（教員免許状申請用証明書）**や上記以外の特殊証明書については、所属学習センターでのみ発行いたします。発行には**2週間程度**要するものもございますので、十分に余裕を持って請求してください。なお、『諸証明書交付願』は「学生生活の栞（巻末様式10）」の様式をコピーして使用するか、システム WAKABA 「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードしてください。

▶**郵送の場合…①～③を学習センターに送付してください。**

① 『諸証明書交付願』（※学部用、大学院用があります）

▶必ず**連絡の取れる電話番号**をご記入ください。

② 発行手数料（現金書留または郵便小為替（1通につき200円））

③ 返信用封筒（長形3号、切手貼付（110円※）、宛名明記）

（※2024年10月1日から郵便料が値上げしました。）



その3. 各種手続きについて

●休学届（全科履修生・選科履修生）



入学後のご事情(病気や転勤など)により、修学を継続できない場合には、休学することができます。

- ① 「休学願」(「学生生活の葉(末巻様式5)」)を本部へ郵送にて提出することで休学できます。
なお、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」でも手続きできます。
- ② 休学期間は、1学期間を単位とし、全科履修生は通算して8学期間(4年間)まで、選科履修生の場合は通算して2学期間(1年間)までです。
- ③ 休学期間中は、通信指導の再提出および単位認定試験の再試験受験ができなくなりますのでご注意ください。
- ④ 休学期間中は本部図書の出借サービスを受けることができません。
- ⑤ 休学期間が終了する際は、復学する学期の分の科目登録申請を忘れずに行ってください。

※学期の途中での休学はできず、申請した次学期からの休学となります。(提出期間については、「学習センター利用の手引き」14ページをご参照ください)

●住所等の変更



入学後、「住所」や「電話番号」などに変更があったときは、速やかにシステムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」にて変更をお願いいたします。郵送の場合は、「住所等変更届」(学生生活の葉(巻末様式4))を所属学習センターへ提出してください。併せて、最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。住所変更の手続きが取られていない場合、「単位認定試験」等に関する重要な通知が届かない可能性があります。

●所属学習センターの変更



入学後のご事情(転勤など)により、所属学習センターの変更を希望されるときは、システムWAKABA「教務情報→変更・異動手続」から手続きをお願いいたします。郵送による変更の場合は『所属学習センター変更願』(「学生生活の葉(巻末様式2)」)を本部へ提出してください。

※学期の途中での変更はできません。

その4. 過去問題で単位認定試験対策をしてみましょう！

システムWAKABAでは、過去2学期分(1年分)の単位認定試験問題・解答等を公表しております。富山学習センターでも事務室前にて配架しておりますので、ご自由に閲覧ください。ただし、コピーはでき兼ねますのでご了承ください。本部では、有償で郵送サービスを実施しております。

(▶詳しくは、「学生生活の葉」76ページ参照)



その5. 学習相談のお知らせ

富山学習センターでは、所長および客員教員が、修学上における様々な相談に応じています。卒業研究、大学院への進学、履修計画等でお悩みの方など、どなたでもお気軽にご利用ください。「学習相談申込書」をご記入のうえ、富山学習センターまでお申し込みください。(代表メール：toyama.sc@ouj.ac.jp)

申請書受理後、学習相談の日時をご連絡します。

(▶申込書は、富山学習センターWebサイト「スケジュール・授業案内」→「学習相談一覧」に掲載しております。)

10月～1月のスケジュール

青字…面接授業、オープンセミナー
赤字…各種試験日 紫字…祭日

【重要】 スケジュールが変更される場合があります。
最新の情報は富山学習センターのWebサイトで
ご確認ください。直接お問い合わせください。

◆ 10月

- 1日 放送授業 開始（～1/20）
- 4日 オンライン授業 開始（～1月中旬）
- 6日 学習センターの集い
- 11日 面接授業 空席発表・事前申請交付開始
- 12・13日 面接授業
- 17日 面接授業 追加登録先着申請受付開始
- 19・20日 面接授業
- 26・27日 面接授業



◆ 11月

- 1日 ライブWeb授業 開始（～1月中旬）
- 9・10日 面接授業
- 7日 通信指導 提出開始 <WEB>（～11/28 17時）
- 15日 通信指導 提出開始 <郵送>（～11/29 必着）
- 16・17日 面接授業
- 28日 通信指導 提出締切
- 30日 オープンセミナー（石津憲一郎先生）
- 30・1日 面接授業

◆ 12月

- 30・1日 面接授業
- 15日 オープンセミナー（鈴木景二先生）
- 7・8日 面接授業
- 14・15日 面接授業

※年末年始閉所日 12/28～1/6 終日

◆ 2025年1月

- 19～27日 単位認定試験 期間
（試験問題を閲覧、解答できる期間）

※臨時閉所日 1/17 午後、18 終日

「たんぽぽ」は次号から Web ブラウザでの発行となります。



富山学習センター
◀ Web サイトはこちら！
TEL：0766-56-9230
Email：toyama.sc@ouj.ac.jp

10月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2025年 1月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■ 閉所日【月曜、祝日、臨時閉所日】